

令和8年2月25日（水）

青森県中南地域連携事務所 地域支援課

地域交通の 維持活性化

取組内容

地域の新たなつながり・価値共創事業の4柱 1

地域づくり勉強会 2

中南地域価値共創プロジェクト 3

まとめ 8

1

地域の新たなつながり・価値共創事業の4柱

中南地域価値共創プロジェクト

- ・大鰐線運行休止周知動画制作
- ・カウントダウンボード設置
- ・車両体験
- ・思い出募集

地域づくり勉強会

【テーマ】

- ・地域の足の確保
- ・地域を担う人材の育成
- ・空き家対策(危険空き家)

伴走支援

- ・支援先 黒石市
- ・テーマ
地域協議会の活動基盤強化

夢相伝講座

- ・中学校：3校
(聖愛、碓ヶ関、藤崎)
- ・高校：3校
(弘前工業、聖愛、黒石)

2

地域づくり勉強会 「地域の足の確保」

課題：3年後の弘南鉄道大鰐線の休止やバス運転手の減少に伴う
「地域の足の確保」

目的：地域の実情に沿った効果的な取組みの検討材料を提供

内容：①モビリティプロモーション 大野 悠貴 氏

今後の公共交通のあり方、地域公共交通計画の実質化

②秋田県大館市 建設部 都市計画課 交通政策係

AIオンデマンド交通 事例紹介





中南地域 価値共創プロジェクト

3

令和7年度中南地域価値共創ラボ（全3回）

テーマ：『大鰐線から考える弘南鉄道の維持活性化』

目標：

- ・大鰐線運行休止後も地域の活性化に資する持続可能な内容
- ・弘南線沿線をはじめ中南地域住民全体の地域交通に関する意識醸成に寄与

メンバー：プロジェクトおおわに事業協同組合、OH!!鰐 元気隊、弘南鉄道大鰐線アソビプロジェクト実行委員会、NPO法人コミュニティネットワークCAST、株式会社まちなかキャンパス、弘南鉄道株式会社

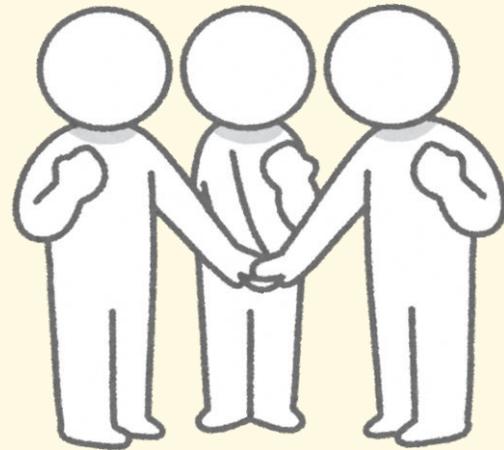
オブザーバー：弘前市 地域交通課、大鰐町 企画観光課、公益社団法人弘前観光コンベンション協会、一般社団法人ClanPEONY津軽



ラボの主な意見

地域交通の大事さを知ってほしい！

大鰐線の休止が
あまり知られていない



子どもたちを巻き込むような
取組がよい

大鰐線に乗ったことがない
子どもたちが多いのでは

大鰐線の記憶を
記録に残しておくべき

4

大鰐線運行休止周知動画制作

目的：弘南鉄道大鰐線の運行休止を広く周知

担当団体：OH!!鰐 元気隊



◆大鰐線運行休止周知活動（東京有楽町交通会館前）

チラシ1,000枚、動画QRコード付き絵はがき1,000枚の配布

担当団体：OH!!鰐 元気隊

弘南鉄道大鰐線は
2028年3月末の運行をもって
休止します。

かつて都会を駆け抜けた古い車両。
昭和の面影をそのまま残す吊り革や扇
風機。どこか懐かしい通勤・通学の記憶。
あなたの思い出列車は今も津軽の空の下
を走り続けています。
休止前の今、思い出を刻みに来ませんか。

動画は下記のQRコードを
読み取ってご覧ください。

「中函地域価値共創プロジェクト」事務局（青森県中函地域連携事務所） ☎0172-32-2407



5

カウントダウンボード設置

目的：日数を可視化し、弘南鉄道大鰐線の運行休止を広く周知
設置場所：大鰐駅、中央弘前駅
担当団体：弘南鉄道アソビプロジェクト、弘南鉄道株式会社



◆カウントダウンボード除幕式

日程：令和7年10月26日（日）

場所：中央弘前駅前

担当団体：まちなかキャンパス株式会社、弘南鉄道株式会社



6

車両体験

目的：子どもたちの大鰐線思い出づくり
日程：令和7年10月26日（日）
担当団体：弘南鉄道株式会社
参加者：沿線地域在住児童及び保護者10組20名
内容：大鰐線乗車、車内見学、運転席操作体験、ラッセル車見学



7

『わたしの大鰐線』 思い出大募集！

目的：大鰐線に関する思い出の記録
 募集期間：令和7年10月1日（水）～令和8年1月30日（金）
 担当団体：弘南鉄道株式会社
 応募総数：171作品（写真119、エピソード39、絵12、動画1）

展示の様子（駅舎）



（車内中吊り）



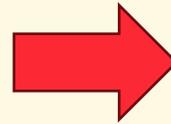


8

まとめ

プロジェクトで達成できたこと

- ①大鰐線運行休止を広く周知
- ②運行休止までの期間を可視化
- ③近隣住民の地域交通維持への意識向上
- ④運行休止後も残り続ける思い出作品の集約



地域の足の重要性を再認識する
きっかけづくり

次年度へ向けて…

- ・弘南線も含めた弘南鉄道の維持活性化に向けた取組の継続
- ・広く地域交通への意識醸成につながる取組